

【知識及び技能】

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
4月	1 「家庭基礎」をなぜ学ぶのかを理解する。 2 生活を主体的につくるために必要な力を考え、学習するうえでの目的意識をもつ。	家庭科を学ぶということ 家庭科の学び方	【主体的に学習に取り組む態度】生涯にわたり、自立した生活を主体的につくるために必要な力について考えようとしている。			○	2
	1 個人の発達段階の特徴と発達課題を知る。 2 ライフステージについて理解する。 3 さまざまなライフスタイルがあることを知り、自分の将来のライフスタイルを具体的にイメージする。	人生設計・人生すごろく	【知識・技能】生涯発達の考えかたに立ち、各ライフステージごとの特徴と課題について理解している。 【思考・判断・表現】高校生活の課題、自己の生きかた、将来の家庭生活と職業生活のありかたについて考えを深めながら、生活設計を立案したり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】さまざまなライフコースがあることについて考えようとしている。	○	○	○	2
5月	1 「家族」の定義を理解する。 2 家族と世帯について理解し、現代の家族の特徴と社会とのかかわりについて理解する。	家族とは何か	【知識・技能】現代の家族の特徴について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の家族の特徴に関心をもち、これからの家族のありかたや社会とのかかわりについて考えようとしている。	○		○	2
	1 家族・家庭に関する法律を理解し、制度としての家族について考える。 2 男女共同参画社会の実現をめざし、男女がともに家庭生活の責任を果たし、人間らしい生きかたをするための課題を考える。	法律からみる家族・家庭	【知識・技能】家族・家庭に関する法律について理解している。 【思考・判断・表現】家族・家庭に関する法律をもとに、社会制度としての家族について考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】家族・家庭に関する法律に関心をもち、社会制度としての家族について考えようとしている。	○	○	○	2
	1 被服を手づくりすることの楽しさや意義を考える。 2 既製衣料品にこれまで学習した縫製技能を応用することによって、より体型に合わせたり、自分らしさを表現できることを知り、実践する態度を養う。 3 被服の名称、形態、ディテールのデザイン、色・模様・繊維の種類・組織などの特徴、素材と季節の関係・価格など基本的な情報を確認する。 4 型紙補正の知識の初歩を理解する。 5 被服製作の工程と留意点を理解し、日常生活に役立つ縫製に関する基本的な知識と手法を理解する。	エプロン製作	【知識・技能】まち針の打ちかた、止止め、玉結び、基礎縫いなど、縫製の基本技術が正しくできる。 【思考・判断・表現】今、おこなっている作業が、完成品のどの部分の工程なのかを縫製工程と照らし合わせて考えながら作業している。 【主体的に学習に取り組む態度】縫製の基本技術の正しい方法を理解している	○	○	○	6
6月	1 被服の機能について知り、I.P.O.に応じて、ライフステージに応じて、自分も他人も快適になる被服の着用ができるようになる。 2 被服の形と構成の関係を理解する。 3 動作とゆるみの基本的な関係を理解する。	快適な衣生活の条件	【知識・技能】被服には保健衛生的機能と社会的機能があることを理解している。/健康・安全などについて配慮した被服の選択が適切にできる。 【思考・判断・表現】自分らしい着装について考え、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】被服の快適さを保障する条件について、具体的に考えようとしている	○	○	○	2
	1 洗濯の目的と方法、洗剤の種類と働きを理解する。 2 被服の洗濯以外の手入れ方法を知る。 3 被服の収納の方法を工夫し、実践する態度を養う。	長持ちさせる手入れ	【知識・技能】洗剤の働きと汚れが落ちるしくみ、乾式洗濯と湿式洗濯の特徴や利用上の注意について理解している。 【思考・判断・表現】被服材料に応じた被服整理や適切な衣生活の管理について考えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】洗濯の種類や汚れの種類、洗剤の成分について関心をもち、合理的な洗濯の方法について考えようとしている。	○	○	○	2
7月	1 被服の活用の計画には、一連の流れがあることを理解する。 2 既製衣料品には種々の表示があることを知り、表示の内容を理解する。 3 被服の流行の発生過程について知り、数々の情報に惑わされずに自分らしい着装と被服の管理ができる	衣生活のPDCA	【知識・技能】ライフステージごとの衣生活の課題を理解している。/衣生活の計画の流れについて理解している。 【思考・判断・表現】被服管理について具体的に考え、取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】ライフステージや自分のライフスタイルに応じた健康で合理的な衣生活を送ることに関心をもちようとしている。	○	○	○	2
	1 毎日の生活を営むために必要な費用を知る。 2 家計を中心とした経済の循環を知る。 3 家計と社会の経済活動の関係を理解し、マネーコントロール	経済のしくみを知ろう	【知識・技能】収入と支出からなる家計について理解している。/家庭経済と国民経済とのかかわりについて理解している。				

<p>○ 孝則と弘志の経済情勢は家族に関係していることを知る。</p>		<p>【思考・判断・表現】自身の経済活動が企業や政府などの経済活動とつながっていることについて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】家庭経済と国民経済とのかわりについて関心をもち、家庭の経済計画の重要性について考えようとしている。</p>	○	○	○	2

9月	1 消費にかかわる契約について理解する。 2 契約を交わす際の注意点、契約を交わしたときに発生する法的責任、契約に関するトラブルについて知る。	18歳で変わる消費生活	【知識・技能】契約について理解している。/多様化する消費者問題の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】多様化する消費者問題にどのように対処すべきか考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】消費者問題の課題に関心をもとうとしている。	○	○	○	2
	1 消費者信用について理解する。 2 多重債務について知るとともに、「お金を借りる」機会を有意義に活用できるようにする方法を考える。	「お金を借りる」ということ	【知識・技能】クレジット、ローンについて理解し、適切に自己管理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分や家族にとって有効なお金の使いかたについて考えようとしている。	○	○	○	2
	1 売買契約のトラブルや消費者問題から消費者を救済する法律や制度について理解する。 2 クーリング・オフ制度について理解する。 3 情報化を背景とした消費者問題に注目し、問題商法の被害者あるいは加害者にならないようにする方法を考える。	消費者の自立を支援する	【知識・技能】契約上の問題から消費者を救済する制度や法律について理解している。/クーリング・オフの条件を理解し、必要な場合には通知できる。 【思考・判断・表現】自分の生活に起こったことと関連づけながら、生活情報を活用することについて、考えを深めたり、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】消費者を救済する法律や制度に関心をもとうとしている。	○	○	○	2
10月	1 食事と食品と栄養素の関係について理解する。 2 食事摂取基準、食品群の種類を理解し、その目的と生活のなかでの利用方法を理解する。 3 食事のもつ意味を知る。	栄養バランスのよい食事	【知識・技能】食事摂取基準、四つの食品群別摂取量のめやす、栄養価計算について活用方法を理解している。 【思考・判断・表現】食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすについて、家族や自分の食生活と関連させて具体的に考え、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】成長・発達の促進、健康の保持・増進、生活習慣病予防のためには、1日に必要なエネルギーや栄養素量を把握することが重要であることを認識している。	○	○	○	2
	1 炭水化物の働きとその重要性を理解する。 2 炭水化物の種類を知り、炭水化物の摂りかたについて考える。 3 炭水化物を多く含む食品とその利用方法を考える。	炭水化物を摂る	【知識・技能】各栄養素の種類と機能を理解している。おもな食品の栄養的特質を食品群と関連させて理解している。 【思考・判断・表現】栄養素の種類と機能をふまえて、食品を組み合わせて摂る具体的な献立をまとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】家族や自分の食生活について、栄養素と健康とを関連させて考えようとしている。	○	○	○	2
	1 脂質のさまざまな働きについて理解する。 2 脂肪酸の種類を知り、脂質の摂りかたについて考える。 3 脂質を多く含む食品とその利用方法を考える。	脂質を摂る	【主体的に学習に取り組む態度】家族や自分の食生活について、栄養素と健康とを関連させて考えようとしている。	○	○	○	2
	1 無機質・ビタミンのさまざまな働きについて理解する。 2 日本人に不足しがちな無機質、過剰になりがちな無機質を知り、摂りかたについて考える。 3 無機質・ビタミンを多く含む食品とその利用方法を考える。	無機質を摂る		○	○	○	2
	1 無機質・ビタミンのさまざまな働きについて理解する。 2 日本人に不足しがちな無機質、過剰になりがちな無機質を知り、摂りかたについて考える。 3 無機質・ビタミンを多く含む食品とその利用方法を考える。	ビタミンを摂る		○	○	○	2
11月	1 近年多発する食品に関する事件を取り上げて、なぜそのような事態が生じたのかを知るとともに、消費者として身につけるべき知識と判断力について考える。 2 食中毒の発生原因を知り、防ぐ方法を理解し、実行できるようにする。	食品を安全に取り扱う	【知識・技能】食品の安全性にかかわる問題点などを通して、食生活と健康との関連を理解している。食中毒の発生状況や原因を理解している。 【思考・判断・表現】近年の食品の安全性について思考を深め、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】食の安全を守るしきみについて関心をもとうとしている。	○	○	○	2
	1 日本および近隣諸国や世界の食環境問題について広く問題提起し、話し合い、自分自身の問題としてとらえる姿勢を身につける。 2 食料問題や環境問題、災害時にも対応できるように、ふだんの生活からできることを工夫する実践力を身につける。	持続可能な食生活	【知識・技能】食料自給率を知り、輸入に依存したときに起る問題について理解している。環境に配慮した食行動ができる。 【思考・判断・表現】食料自給率を上げていくためにできることを考え、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】日本の食事情について、世界との関係から考えようとしている。環境に配慮した食生活について考えようとしている。	○	○	○	2
	1 食品を調理する目的を理解し、調理により食品がどのように変化するか、また同じ食品でも調理操作により味やテクスチャーが異なるものがあることを理解する。 2 調理を科学的に理解する態度を養う。 3 調理を能率的におこなうための調理器具の利用のしかた、安全への配慮に目をむける。	調理実習	【知識・技能】食品の調理上の性質をいかした調理法について理解している。配膳や食事のマナーについて理解している。調理の基礎技術を身につけ、実生活で活用し、調理することができる。 【思考・判断・表現】調理の技術を積極的に身につけようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】食生活の多様化や食環境の変化に興味をもち、調理実習・実験に取り組んでいる。	○	○	○	6
12月	1 人間は成長していく存在であることを知る。 2 子どもの時期は人としての土台をつくる重要な時期であることを理解する。 3 子どもの成長・発達は一一人ひとり違うものであることを理解する。 4 子どもの行動の背後にあるものを理解し、かかわり方を知るとともに、かかわりの中でつくる「愛着」が、子どもの現在から将来に至るまで成長・発達に不可欠であることを理解する。	子どもの世界を知る	【知識・技能】乳幼児期が人間の発達の基礎をつくるのもっとも重要な時期であること、および環境の重要性を理解している。人間形成の基礎となる乳幼児期は、親による働きかけが重要であることを理解している。子どもの成長・発達は個人差が大きいことを理解している。 【思考・判断・表現】乳幼児期の重要性と子どもの人間形成について、親としてどうあればよいかを考え、意見交換できる。子どもの成長・発達を見守る視点について、個人差や順序性と関連づけ考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】乳児期の「愛着」の形成や子どもの人格形成にかかわる親の役割について考えようとしている。	○	○	○	2
	1 遊びの意義を理解し、児童文化に関心をもつ。	子どもの仕事は「遊び」	【知識・技能】子どもにとって、生活から得られるあらゆる刺激がその子の人間形成につながっていることを理解する。 【思考・判断・表現】現代の子どもの心身の成長・発達について、生活や遊びなど近年の少子社会における子どもを取り巻く環境の変化などを視野に入れ、課題をみつかり、それらの原因および解決方法をまとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもにとっての遊びの意義と子どもの遊びについて関心をもとうとしている。	○	○	○	2
	1 子どもの権利条約や児童福祉法の理念を知り、子どももおとなと同様、一人の人間として人権をもっていることを理解する。 2 世界や日本の子どもを取り巻く問題を知り、その解決方法を考える。 3 集団保育の施設とその役割について理解する。	社会で子育て	【知識・技能】親の果たす責任と役割について理解している。近年の子どもを取り巻く環境の変化や子育てをする保護者の課題について理解している。 【思考・判断・表現】児不安や児童虐待などの事例をふまえて、それらの原因および解決方法をまとめたり、発表したりしている。地域の子育て支援や子育てを支援する制度について調べたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】近年の子どもを取り巻く環境の変化と課題について考え、よりよい環境を保障するために親や家庭、社会が果たす役割は何かを考えようとしている。	○	○	○	2

1月	1 人間の発達の完成期であり、同時に現代社会の課題でもある高齢期への関心を高める。 2 人生100年時代では、高齢者が意欲・能力に応じて生き生きと活躍し続けられる「エイジレス社会」の構築が必要であることを理解する。	人生100年時代の高齢期	【知識・技能】人は生涯発達し続けること、高齢期だからこそいかにできる能力があることについて理解している。高齢者に対する共感の大切さを理解している。 【思考・判断・表現】身近な高齢者への聞き取り調査などを通して、高齢者の生活の現状についてまとめたり、発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】高齢者を肯定的にとらえ、適切にかかわろうとしている。	○	○	○	2
	1 高齢者の生活課題を把握する。 2 高齢者福祉の考えかたについて理解し、高齢者にとって豊かな生活とは何か、生活の質の向上と自己決定権の保障という視点から考える。 3 高齢者の自立を支援するための社会保障、社会福祉制度について知る。	高齢期の生活を支える	【知識・技能】高齢社会の現状と課題、高齢者福祉の基本的な理念と近年の高齢者福祉サービスの概要について理解している。 【思考・判断・表現】高齢期の生活課題を自己の課題としてとらえ、解決策について考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】高齢社会の現状や課題、高齢者の自立生活支援はどうあればよいかなどについて考えようとしている。	○	○	○	2
	1 介護保険制度の概要を理解する。 2 家族で介護について話し合うことの重要性を知る。 3 高齢者の介助を体験し、実践できるようにする。	介護を支える	【知識・技能】介護保険制度の目的と概要について理解している。介護をめぐる状況について理解している。 【思考・判断・表現】高齢者が介護を必要とするようになった理由、介護をする家族が直面する問題などを調べることによって、介護についての考えを深めたり、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】高齢者介護の心構えについて考えようとしている。高齢者の介助技術を積極的に習得しようとしている。	○	○	○	2
2月	1 住まいの役割や重要性を理解する。 2 住まいや住生活の変化とその要因を知ることを通して、現代の住まいや住生活について考える。	住まいを知ろう	【知識・技能】住まいの機能について理解している。現代の住まいと住まい方について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】住まいの機能、人間と住まいとのかかわりについて考えようとしている。	○	○	○	2
	1 住文化の成り立ちを知り、その変化の過程と現代の住生活との関係を知る。 2 気候風土により、住まいが地域によって異なる特徴をもって発展してきたことを理解する。	日本の住文化を知ろう	【知識・技能】住まいは気候風土に合わせ、材質や構造の工夫をすることで快適な空間を創造できることを理解している。 【思考・判断・表現】日本や世界の住まいについて、調査したり、まとめたり、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】住生活の文化に関心をもち、住まいの機能、人間と住まいとのかかわりについて考えようとしている。	○	○	○	2
	1 住まいや住生活の現状を知り、改善のための課題について考える。 2 ライフスタイルやライフステージによって住空間に対する家族の要求が異なることを理解し、住まいへの要求に合った住まいのありかたを考える。 3 生活行為と住空間とのかかわりや、住空間の違いによって住まいの居住性が異なることを理解する。 4 住まいの平面図の基礎的知識を学び、要求に合った住まいであるかを平面図から読み取れるようになる。	住む人の生活と住まい	【知識・技能】生活行為と住空間とのかかわり、動作に必要な広さ、家具の配置や動線などについて理解している。平面図が読み取れ、住空間の計画について検討できる。 【思考・判断・表現】想定した家族や住まいをもとに、住まいの機能や住空間と家族の暮らしかたなどについて、考えをまとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】家族構成、ライフステージ、生活にかかわる価値観などに応じた住空間の計画について検討しようとしている。	○	○	○	2
3月	1 購入の意思決定が生産に影響を及ぼしうることを理解させ、市場で提供される商品が環境へ及ぼす影響を考えようとする力を養う。 2 持続可能な社会と個々人のライフスタイルの関連を理解させ、実践に結びつけられるようにする。	ライフスタイル再考	【知識・技能】持続可能な社会を実現するために必要な法律や制度について理解している。 【思考・判断・表現】環境に調和したライフスタイルのありかたについて思考を深め、考えをまとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】環境負荷の少ない生活の実践について考えようとしている。	○	○	○	4